

あいさつ



「今年ってほんまに令和3年なん? まだ2年かと思ったわ。」受付でのやりとりです。思い返せばこの一年、例えば年中行事など、季節の折々に当たり前のようにはやっていたことがいつもどおりにできませんでした。だから一年過ぎた気がしないのかもしれませんが。4月以降、奈良市でも新型コロナウイルスワクチン接種が開始される予定です。コロナウイルスが今のような脅威でなくなる日へ近づく第一歩になればいいですね。元の生活へ戻れたら、当たり前のようにはやっていたことをしっかりとかみしめながら行いたいと思います。令和3年度も登美ヶ丘公民館一同、皆さまのお越しをお待ちしています。

(館長 中川 里美)

公民館からのお知らせ

*ベルマークを集めています!

- 1階チラシ置場周辺にベルマークの回収箱を設置しました。
お手元にある方は回収にご協力ください。



主催事業の様子

公民館では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら主催事業を行っています。

*登美ヶ丘公民館自主グループ交流会 2月6日(土)



自主グループの横のつながりづくりの場として、交流会を開催しました。

はじめに、講師の「あそびの工房もくもく屋」田川雅規さんから、コロナ禍の中でも意欲的に活動をしている自主グループの皆さんへ、コミュニケーションに役立つ話を交えてエールを送っていただきました。講義を聞くだけでなく、参加者がそれぞれ取り組んでいる活動について紹介し合う時間を設け、お互いの興味のある話題で盛り上がるなど楽しく話をすることができました。



<参加者アンケートからの感想>

- ・つながることの大切さを実感できました。
- ・身近な内容で良かった。
- ・“傾聴する”というのは本当に人間にとって大切なことと肝に命じました。



講座開催前に、自主グループの皆さんへ「公民館の自主グループ活動に関するアンケート」をとりました。28のグループからいただいた回答より抜粋して紹介します。

- 「**新型コロナウイルス感染症によるグループ活動への影響**」については、公民館の休館期間もあったことから、ほとんどの会が休会を余儀なくされたことや3密への配慮などについて、意見が寄せられました。
 - ・しばらく休んでいる会員に「また来てください」と呼びかけるのが、コロナのために、ためられます。感染を恐れたりして、人数をふやしくいです。
 - ・コロナウイルス感染予防の為、各々の家族の影響で活動に参加出来ない方が居られた。
 - ・学び、交流が途絶えることにより淋しさを感じ、向学心が失せる。



- 「**グループ活動をしていて良かったと感じること**」は、「ある」との回答ばかりでした！
 - ・友達が出来、学習するにより知ることが多い。 ・日々の生活に潤いがあり、互助の精神が身につく。
 - ・他の人と関わり、色々会の事を企画など考えることによっても、自分が成長できる。
 - ・ストレス発散、リフレッシュができる。 ・ここでしか会えなかった人とつながりが持てる。
 - ・皆さんの元気な顔を見て、自分も元気になった。友人ができた。コロナ禍でも、外へ出て活動出来た事。
 - ・皆が元気に明るく前向きに頑張り、足腰が強くなっている。 ・人との交流は心を豊かにする。

- 「**グループ活動をしていて大変だと感じること**」は、「ある」と答えた方も前向きな意見が多数でした。
 - ・人数が多いと何かとあるが、良いことの方が多くて気にならない。
 - ・自分の思うとおりに進まないこともある。もっとも逆に他の人の意見が素晴らしいことの方が多い。
 - ・十人十色なので。ただそれも含めて充実している。
 - ・役にあった時は多少、手間なことはあるが活動自体は楽しくやれている。



以下、公民館への声をいくつかご紹介します。

- ・公民館という公共の施設は私達庶民のグループにとって必須なものです。
- ・さまざまな趣味や活動に大変役立つ場として必要だと思います。身体を動かし人と話すことはなによりの老化防止ですし、健康で老いるために必要な場として活用させていただいております。
- ・沢山のすばらしい会があるのでもっと多くの人に知って欲しいと思います。たとえば、イオン、ライフ他に公民館情報などがあればいいかも知れませんネ。
- ・大変驚沢な事かも知れませんがホール3の机、椅子が大変重く足腰や腕肩の不自由な者にとって辛い時があります。いつか改善していただけたらと希望します。

アンケートを見た講師の田川さんから「皆さんとても前向きで素晴らしいですね！」との感想をもらうくらい、自主グループの皆さんの公民館活動に対する熱意を改めて感じました。ここで紹介した以外にも貴重な意見をたくさんいただくことができました。今後の公民館運営にしっかりと活かしてまいります。